

最後の思い出【中学校】

- 1 主題名** 友の幸せを願う **内容項目** B 友情、信頼
- 2 ねらい** 主人公の友達を喜ばせようとした行動が想いと違った方向へ進んでしまい後に引けない葛藤と大切な時を失ってしまった後悔の念について話し合う活動を通して、友達の幸せを願い真に大切にすべきことは何かを見極め行動しようとする態度を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導 入	1 友達のためにする行動について考える。 ・これまでに友達のために、何かしてあげたことはありますか。また、その時の友達の反応はどうでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のために、何かをしてあげたいという気持ちに共感させる。 ・楽しい雰囲気で見聞を広げるとともに、授業後半の展開への布石とする。
展 開	2 教材「最後の思い出」を聞き、話し合う。 (1)潤子の告白を聞いたとき、真奈はどんな気持ちだっただろうか。 (補助発問) 潤子はだろうか。 (2)やる気に満ち溢れていた真奈はどんなことを思っていただろうか。 (補助発問) 他の仲間はどうだろうか。 (3)一人で家に帰る途中、真奈はどんなことを思っていただろうか。 (補助発問) 結花からのメッセージがこなくなってしまうときはどんな気持ちだっただろうか。 (4)「もっと、みんなと話したかった。」という潤子の言葉を聞いて、真奈はどんなことを思っていただろうか。 (補助発問) この後、真奈はどうしていこうか。 3 本時の学びを通して、振り返る。 ・今までの自分の生活を振り返り、今日の授業で考えたことや感じたことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・親友との別れであり、とても大きなショックを受けたことを押さえない。 ・補助的に潤子の気持ちを聞くことで、終末の問いへも生かせる。 ・悪気はなく、潤子のためにと一心に行動していることを気付かせたい。 ・その反面、SNSのやりとりでのめり込んでいる気持ち（人間の弱さ）にも共感させる。 ・少しずつ冷静になり、自分の行動を見つめ直している気持ちを考えさせたい。 ・よかれと思ってやっているが、結果として潤子のためになっていないということに気付くも、すでに收拾がつかなくなりだしている焦り、悩んでいる葛藤部分話し合いたい。 ・取り返しのつかない深い後悔の念に触れたい。 ・この後の真奈の姿を想像させることで、友達を幸せにするため、本当に大切にすべきことは何だったのかを考えさせたい。
終 末	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の幸せを願い真に大切にすべきことは何かを考え続けていこうという雰囲気で終える。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

生徒を取り巻くSNS上でのコミュニケーションは、急激に変化し、より複雑なものになってきており、様々なトラブルへと発展してしまうリスクが高くなっている。そこで、本教材は、情報機器の使い方により、すれ違いが生じてしまうといった内容になっている。

また、生徒の発達段階や特性等を考慮し、終末は取り返しがつかない場面で終わる形になっており、深い後悔と悲しみと向き合い、真に大切にすべきものは何なのかを問える教材となっている。